

公益社団法人青森青年会議所  
2018年度 思いやり溢れる青少年育成委員会 事業計画書

担当常任理事 大中 大輔  
委員長 木村 親弘

【基本方針】

私たちは多くの人々とかかわり、多種多様な価値観に触れ合いながら生活しています。良好な人間関係を構築していくための基礎となることは、自分自身の価値を認めてから育まれる相手を大切に思う心と、様々な考えや違いに気付きながら相手の思いや立場を受け入れ、共感して思いやりの心をもって接することだと考えます。子どもの頃から周囲の人々と良好な関係を築いていけるよう、自分と相手を大切に思いやりの心を養うことが必要です。

まずは、思いやりの心を養う基礎を築くために、子どもたちが自分の性格や特徴を知り、客観的に自分を見つめなおすことで、ありのままの自己を肯定的に受け入れるきっかけとなります。誰にでも長所があれば短所もあることを知り、それらを含め、子どもが自分自身を尊重し、存在価値を認識し認めることで、積極的に周囲の人とかかわる自信がもてるようになります。そして、お互いを助け合う気持ちを育むために、子どもたちが多くの人々と交流し、一人ひとりの価値観や物事の捉え方などが違うことに気付きながらお互いを認め合うことで、相手を思いやる発言や行動が出来るように成長して行くことにつながります。子どもたちが相手を思いやる気持ちがさらに強くするために相手の特性に目を向け、同じ目標に向かい、どのようにすれば目標を達成出来るかを話し合い、一人ひとりの意見を尊重し合います。共に協力し合える仲間の大切さを学び、相手の考えを受け入れ、状況や立場に配慮した発言や行動が出来るきっかけにつなげます。

自分の価値を認め、お互いに助け合う気持ちを育み、困っている人に自信をもって手を差し伸べることが出来る子どもたちは、相手の考えや気持ちをくみ取り、周りの人と共感し合いながら多くの人を巻き込み、一人では解決できない困難な状況に直面しても積極果敢に挑戦し、将来の青森を担う思いやり溢れる人財へと成長します。

【事業計画1】

|   |     |                      |
|---|-----|----------------------|
| 1 | 事業名 | 思いやりを養う事業①（6月例会）【公1】 |
| 2 | 目的  | 思いやりの心を養う基礎を築くため     |
| 3 | 内容  | 自分を知り、自分を認める気持ちを養う   |

【事業計画2】

|   |     |                             |
|---|-----|-----------------------------|
| 1 | 事業名 | 思いやりを養う事業②【公1】              |
| 2 | 目的  | 相手のことを思い発言や行動が出来る子どもに成長するため |
| 3 | 内容  | 価値観や物事の捉え方などが違うことを気づき認めあう   |